



緊迫する世界情勢。法への無知は、日本の存立を危うくする。

戦時国際法の第一人者による
国防と法を考える47の視点

色摩力夫著 (元外交官 駐チリ大使)

日本の死活問題 ー国際法・国連・軍隊の真実

四六判上製216ページ 定価1600円(税別)

戦争と平和をめぐる国際法の常識(目次より)

★戦争は違法か、合法か

1928年の不戦条約は、戦争を自衛戦争と侵略戦争とに分け、後者を違法化しようとしたが、かえって戦争を肯定することになった。

★国連は戦争を否定していない

国連憲章は4種類の戦争を認めている。つまりすべての戦争を認めていることになる。

★軍隊と警察の本質的な違い

警察は国内法に規定されていること以外はできない。軍隊は国際法で明確に禁止されていること以外は原則自由。

★中韓による「歴史認識」問題

平和状態の回復後は、敵味方の区別はなくなるのが国際慣習。いまだに「歴史認識」問題を振りかざす中国・韓国の行為は、国際社会のルール違反。

〈著者プロフィール〉 色摩力夫 (しかま・りきお)

元外交官。外務省国連局、駐チリ大使、コロンビア大使等。著書に、『国際連合という神話』(PHP新書)、『オルテガ―現代文明論の先駆者』(中公新書)、『国民のための戦争と平和の法』小室直樹共著(総合法令)など多数。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	(株)グッドブックス
		冊	日本の死活問題 国際法・国連・軍隊の真実 色摩力夫 著 四六判上製 216ページ 定価 1600円+税
			ISBN 978-4-907461-12-6 C0031

ご注文は JRC へ ▶▶▶ FAX 03-3294-2177 TEL 03-5283-2230 (取次会社)

※JRC からすべての取次への出荷が可能です。返品は長期間お受けいたします。

